

## コーちゃんバス一次評価書（市自己評価）

## 1. コーちゃんバス全般について

一次評価（市自己評価）		評価委員記入欄	
		妥当性	コメント
評価できる点	高齢者の生活の足として利用されている。		
	利用者からの意見等により、サービス水準が低下していた鷺津地区内の商業施設へのアクセスについては、10月3日に経路やダイヤを改正した。		
		追	
		追	
改善が必要な点	路線別、便別のデータをみても、利用はまだ多くない。高齢者や通勤、通学利用者などに対し効果的な利用促進を図る必要があるが、特に今の段階では高齢者に対する利用促進を積極的に実施する必要がある。		
	利用者が減少している原因を様々な角度で分析することで、改善につなげていきたい。		
	ゾーン運賃の複雑な面もあることから、わかりやすく利用しやすい運賃制度を検討していきたい。		
		追	

※妥当性欄の書き方：「○」一次評価のとおり、「△」加筆・修正が必要、「×」一次評価とは異なる、「—」判断がつかない、「追」追加

## 2. 路線別評価

路線名	一次評価（市自己評価）		評価委員記入欄	
			妥当性	コメント
白須賀 新居 鷺津線	評価で きる点	—		
			追	
			追	
	改善が 必要な 点	J A白須賀支店での他路線（主に白須賀岡崎線）への乗り継ぎの改善が必要。		
		冗長な路線であることから、地域住民の移動ニーズや実態を把握し、抜本的な路線改善を行う必要がある。		
			追	
白須賀 鷺津線	評価で きる点	鷺津地区内の循環ルートを切り離し、路線の速達性と定時性の向上を図った。		
			追	
	改善が 必要な 点	通勤通学以外の更なる利用促進が必要。		
			追	

※妥当性欄の書き方：「○」一次評価のとおり、「△」加筆・修正が必要、「×」一次評価とは異なる、「—」判断がつかない、「追」追加

路線名	一次評価（市自己評価）		評価委員記入欄	
			妥当性	コメント
白須賀 岡崎線	評価で きる点	「おんやど白須賀」まで延伸したことにより、白須賀小学校前にバス停を設置したことで、通学時の子どもたちの安全面が確保された。		
			追	
	改善が 必要な 点	通学、通勤以外の利用促進が必要。		
		白須賀元町地区からの新所原方面への移動のため、白須賀新居鷺津線との接続が悪い。	追	
岡崎 循環線	評価で きる点	—		
	改善が 必要な 点	利用者は昨年度よりも更に減少。知波田地区や入出地区からの病院利用が主目的であるが、早急に潜在的な需要を把握する必要がある。		
		地区に必要な路線であるかどうか、路線の継続や他の手法を含めた検討をしていく。		
			追	
岡崎 鷺津線	評価で きる点	他路線に比べて、利用者数を維持できている。		
		鷺津地区内の循環ルートを切り離し、路線の速達性と定時性の向上を図った。	追	
	改善が 必要な 点	日ノ岡での安全対策は未だとられていない。今後、地域との話し合いをする予定である。		
			追	

※妥当性欄の書き方：「○」一次評価のとおり、「△」加筆・修正が必要、「×」一次評価とは異なる、「—」判断がつかない、「追」追加

路線名	一次評価（市自己評価）		評価委員記入欄	
			妥当性	コメント
知波田 鷺津線	評価で きる点	鷺津地区内の循環ルートを切り離すことで、路線の速達性と定時性の向上を図った。		
		J A湖西北支店での乗り継ぎ環境が、継続、維持されている。		
	改善が 必要な 点	1便の通学以外の利用があまりない。J R鷺津駅への通学通勤の利用ニーズを把握する必要がある。	追	
鷺津循 環線	評価で きる点	鷺津地区の住民の移動手段として利用されている。		
			追	
	改善が 必要な 点	他路線との乗り継ぎや、利用の少ない便について便数を減らすなど見直しをする必要がある。	追	
浜名線	評価で きる点	4月から、正太寺～湖西病院間の運行に改正し、民間バス路線(遠州鉄道)との重複区間の一部解消した。		
		入出地区から鷺津地区への移動の手段として定着している。		
	改善が 必要な 点	運賃制度の検討が必要。		
			追	
			追	

※妥当性欄の書き方：「○」一次評価のとおり、「△」加筆・修正が必要、「×」一次評価とは異なる、「—」判断がつかない、「追」追加

### 3. 運営・運行主体に対する評価

路線名	一次評価（市自己評価）		評価委員記入欄	
			妥当性	コメント
利用促進に対する評価	評価できる点	夏休み小学生割引は、349人で増加しており効果が出ている。(前年比106%)また、今年度は併せて実施したスタンプラリーは52人参加した。		
		幼稚園の乗り方教室を3園から5園に増やして実施。		
		東三河50円バス実行委員会と連携し、県を跨いで、隣接市と協力した利用促進を実施。		
		新居地区の祭り（緑寿の集い）などと連携した土・日のイベントバスの実験運行により、資料収集を行った。		
	改善が必要な点	利用促進の結果が、利用者増につながっていない点を分析する必要がある。		
		幼稚園だけでなく、小学生を対象とした乗り方教室の開催の検討(既存の小学生向けの環境学習等と連携した実施の検討)が必要。		
		通常の路線を利用してできる利用促進活動の実施(ツアーなど)。		
		追		
その他	評価できる点	バス運行事業者(運行管理者)は、運転手が利用者から聞き取りした内容や、現場で感じた意見、運行状況などを取りまとめ、毎月、市に報告書を提出して、改善につなげている。		
			追	
	改善が必要な点	—	追	

※妥当性欄の書き方：「○」一次評価のとおり、「△」加筆・修正が必要、「×」一次評価とは異なる、「—」判断がつかない、「追」追加

## 遠州鉄道路線バス一次評価書（自己評価）

### 1. 遠鉄鉄道路線バス「浜名線(湖西市系統)」(路線の評価)について

一次評価（自己評価）		評価委員記入欄	
		妥当性	コメント
評価できる点	新居小学生の登下校便は、継続して利用されている。		
	収支改善のために下り便の一部区間（西鷲津、本興寺前、湖西市民会館）を降車専用とし効率的運行を図った。		
		追	
改善が必要な点	日中の通学以外の利用者が減少傾向にある。		
		追	

### 2. 運営・運行主体(利用促進など)に対する評価

路線名	一次評価（自己評価）		評価委員記入欄	
			妥当性	コメント
利用促進に対する評価	評価できる点	バスの日イベントを実施した際にJR鷲津駅で通勤・通学者に時刻を記載したチラシを配布し、利用を呼びかけた。		
		市コミュニティバスや自主運行バスとの乗継に配慮した。		
		湖西市高齢者バス券の利用に協力実施している。		
		追		
	改善が必要な点			
その他	評価できる点		追	
	改善が必要な点		追	

※妥当性欄の書き方：「○」一次評価のとおり、「△」加筆・修正が必要、「×」一次評価とは異なる、「—」判断がつかない、「追」追加